

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒場線のラッピングをとおし、まちづくりへと連携する事業
事業主体 (連絡先)	阿智村 (0265-43-2220)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業、(1) 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,090,800円 (うち支援金: 818,000円)

### 事業内容

○阿智高等学校生徒によるラッピングバスのデザイン企画  
通学の利用者が多い阿智高校の生徒に阿智村を連想させるデザインを考案してもらい、併せて南信州公共交通システム構築のために統一したカラーリングを施し、利便性改善、利用促進に努めた。

- ・完成披露日: 9月9日
- ・完成披露参加者: 阿智高生、運行事業所、住民、マスコミ (計約50名)

○阿智高等学校生による、公共交通の利用促進に向けたワークショップ

- ・実施日: 12月25日
- ・参加者: 阿智高生9人

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

阿智高校の生徒によるラッピングにより、駒場線の啓蒙、親近感の増に繋がった。

若年層を対象としたワーキングにより、公共交通体系の再構築を図るための貴重な意見交換等が行えた。

ワークショップの結果等を踏まえ、事業終了後に内装もデザインされることとなり、また、駒場線ダイヤの見直し(増便)等が検討され、より利便性向上・親近感の増につながるような取り組みが行われることとなった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

バスラッピングにより駒場線の啓蒙を行えたので、ワークショップでの成果を元に、地域に根差した公共交通体系の構築を行う。



【ラッピング後写真】

### 【目標・ねらい】

- ① 車両へのラッピングにより駒場線の啓蒙を行い利用促進につなげる
- ② ワーキングによる公共交通体系の再構築

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

地域住民等への啓蒙、今後の公共交通体系の再構築への布石を打つことはできたが、利用者を増やすまでには至らなかったため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある